

青森県警・青森県と高齢者交通事故防止チラシにかかる懇談会を実施

～街頭活動で歩行者へ交通安全を呼びかけ～

日本損害保険協会東北支部青森損保会(会長:武藤 大輔・東京海上日動火災保険株式会社青森支店長)は、青森県警、青森県と協力して、高齢者交通事故防止チラシを31,000枚作成し、そのうち21,000枚を青森県警と青森県へ寄贈しました。それを受け、11月29日(金)に青森県警察本部交通部長室において武藤会長と斉藤 栄誉 交通部長、青森県交通・地域社会部地域生活文化課の小笠原 徹 課長とで懇談会を実施しました。

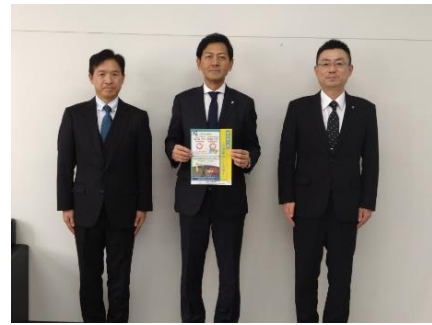
当日は、交通部長から青森県内の交通情勢について説明があり、青森損保会からは高齢者交通事故防止チラシの内容や損保会での取組みなどを説明し、3者で協力し交通事故を減らしていきたい旨呼びかけを行いました。

また、青森損保会は、12月17日(火)にさくら野百貨店青森店前において青森県警や青森県、青森県交通安全協会等と一緒に通行人や店舗利用者に対し、今回作成したチラシや反射材用品等を配布し交通安全・事故防止を呼びかけました。

当支部青森損保会では、引き続き関係機関とも連携のうえ、交通事故の防止・削減に向け、各種啓発活動を進めてまいります。



懇談会風景



斉藤部長(左)、武藤会長(中央)、
小笠原課長(右)



街頭活動の様子



高齢者交通事故防止チラシ(表・裏)

※チラシのPDFは以下からご覧いただけます。

https://www.sonpo.or.jp/news/branch/tohoku/2024/pdf/2412_chirashi.pdf